展覧会名　コレクション展　グラスアート：三つのフローラ

会　　期　2022 年 5 月 21 日（土）― 2022 年 11 月 13 日（日）

会　　場　富山市ガラス美術館 4 階　展示室 4、透ける収蔵庫

開場時間　午前 9 時 30 分から午後 6 時まで
（金・土曜日は午後 8 時まで。入場は閉場の 30 分前まで）

閉 場 日　第 1、第 3 水曜日（ただし、6/1（水）は開場、6/8（水）は閉場）

観 覧 料　一般、大学生 200 円（170 円）、高校生以下は無料
※（　　）内は 20 名以上の団体料金
※本展観覧券でグラス・アート・ガーデン（6F）もご覧いただけます。
※企画展の観覧券をお持ちの方は、本展およびグラス・アート・ガーデン（6F）もご覧いただけます。

主　　催　富山市ガラス美術館

お問い合わせ：富山市ガラス美術館
〒930-0062 富山県富山市西町 5-1　Tel：076-461-3100 / Fax：076-461-3310
E-mail: bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp （広報担当）

概　　要　この度のコレクション展では、「グラスアート：三つのフローラ」をテーマに、所蔵作品 15 点を展示します。

大地に力強く根を張り、時に可憐な花をつけ、その命の終わりとともに大地へと還っていく草花は、私たちの傍らに息づく身近な存在です。その姿は、古来よりジャンルを超えて数多くの芸術作品に表わされ、寓意（ぐうい）や象徴、装飾、デザインなど様々な側面をもったモチーフとなってきました。

現代グラスアートにおいても、植物の姿やイメージは、多様な形で作品に取り入れられています。造形のイメージを草花に求めた作品や、そのコンセプトに植物の形態や豊かな生命力を重ね合わせた作品、記憶や思いといった形無きものを草花の形に託した作品など、その表現は多岐にわたっています。

「フローラ」は花や豊穣（ほうじょう）をつかさどる女神の名であり、一定の区域内に分布する植物の種類を表すことばでもあります。本展は、出品作品を通して「花のすがた、葉のかたち」「花開く生命力」「記憶の花」という 3 つの花のあり様を、現代グラスアートの表現の中に見る試みです。どうぞお楽しみください。

関連企画　見どころトーク

2022 年 5 月 29 日（日）、6 月 11 日（土）、26 日（日）、7 月 9 日（土）、24 日（日）
8 月 13 日（土）、28 日（日）、9 月 10 日（土）、25 日（日）、10 月 8 日（土）、
23 日（日）、11 月 5 日（土）　各回午後 2 時より開催

※事前申し込みは不要です。

◎関連企画は都合により中止、または変更となる場合があります。
最新の情報は当館ウェブサイトをご確認ください。

出品点数　15 点

出品作家　小曽川瑠那、佐々木類、田嶋悦子、塚田美登里、西悦子、藤田喬平、
パヴェル・フラヴァ（50 音順）

お問い合わせ：富山市ガラス美術館
〒930-0062 富山県富山市西町 5-1　Tel：076-461-3100 / Fax：076-461-3310
E-mail: bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp （広報担当）

第 1 章「花のすがた、葉のかたち」

本章では、草花の姿を造形に取り入れた作品を紹介します。植物の形態や構造、独特の質感といった要素は、様々な作品の造形の着想源となっています。作家たちは、こうした要素を自らの操る素材の性質と巧みに呼応させ、繊細で柔らかなイメージを持つ作品や、対象を大胆に抽象化し、その美的本質をあらわにする作品へと展開しています。植物を想起させる多様な造形表現をお楽しみください。

出品作家：西悦子、パヴェル・フラヴァ

第 2 章「花開く生命力」

一見もの言わぬ静かな存在に見える植物でも、その身の内に、葉を茂らせ、花を咲かせ、実りを結ぶ豊かな生命力を宿しています。本章では、植物にまつわりながら、異なるイメージが重なり合う作品を取り上げます。大きなスケールで表された草花の花弁や器官の形は、力強い造形へと昇華し、植物の姿は豊かさや自然の持つエネルギーを表す作品のコンセプトに呼応します。抽象的な造形の中に、生命力あふれる表現をご覧ください。

出品作家：田嶋悦子、塚田美登里、藤田喬平

第 3 章「記憶の花」

本章では、近年新たに収蔵された 2 つのインスタレーション作品を紹介します。これら 2 つの作品は、非常に繊細なガラスの花や、焼成され真っ白な灰となった植物の痕跡が見られますが、そこには作家が日々を生きる中で感じた、失われゆくものに対する強い思いや、植物が生きた土地と作家を結び付ける私的な記憶が託されています。

ここでとりあげる作家たちは、経年変化しにくいガラスという素材を、保存や記録のためのメディアとしてとらえています。時間の経過とともに移ろいゆくものが、ガラスの中にとどめられています。

出品作家：小曽川瑠那、佐々木類

広報用画像の貸出しについて

p.4 の画像 1～4 を広報用に貸出しいたします。

ご希望の方は、p.5 の画像貸出し申請書の使用条件をご確認いただき

E メールか FAX にて富山市ガラス美術館広報担当へ申請書をお送りください。

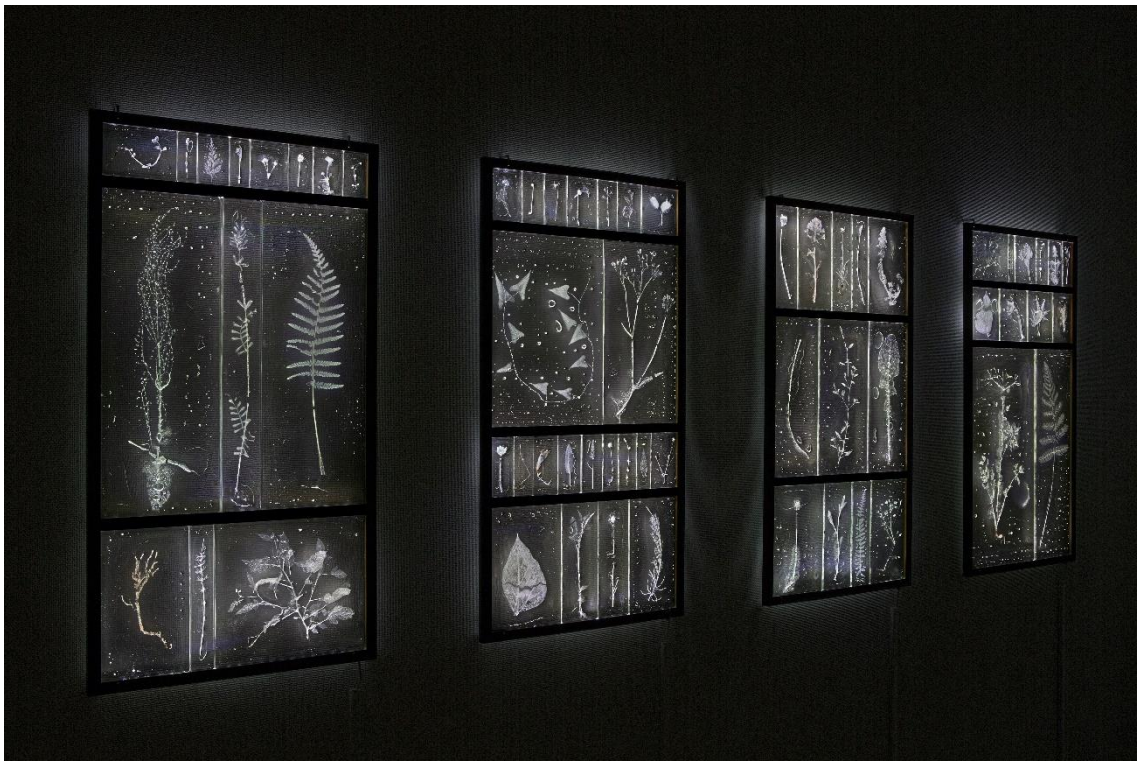
E-mail：bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp FAX：076-461-3310

出品作品

1. 西悦子《チャーミングレディ》
2013 年　撮影：斎城卓

2. パヴェル・フラヴァ《カラフルな葉》
1998 年　斎城卓

3. 田嶋悦子《Cornucopia 99-X》1999 年
撮影：斎城卓



4. 佐々木類《植物の記憶》2019 年、撮影：岡村喜知郎

※全て富山市ガラス美術館蔵の記載をお願いします。

お問い合わせ：富山市ガラス美術館
〒930-0062 富山県富山市西町 5-1　Tel：076-461-3100 / Fax：076-461-3310
E-mail: bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp （広報担当）

TOYAMA キラリ 富山市ガラス美術館 TOYAMA GLASS ART MUSEUM

年　　月　　日

（宛先）富山市ガラス美術館長

担当者：
Ｔｅｌ：　　Ｆａｘ：
Ｅ-ｍａｉｌ：
住所：
団体名：

富山市ガラス美術館　画像貸出し申請書

次のとおり、掲載用素材として
「コレクション展　グラスアート：三つのフローラ」の画像を申し込みます。

1. 掲載（放映）媒体名：

2. 媒体種別：TV　新聞　雑誌　フリーペーパー　電子書籍　WEB サイト　携帯媒体
その他（　　）

3. 掲載の趣旨
別紙のとおり（媒体資料を添付してください）

4. 掲載（放映）日時：

5. ご希望の画像番号：

〇作品に文字やほかのイメージを重ねることはできません。キャプション等の文字が写真にかぶらないようご配慮をお願いします。また、縦横比の変更やトリミングはご遠慮ください。
〇作品掲出には指定するキャプションを必ず入れてください。
〇作品画像の２次使用はご遠慮ください。
※同一記事の再掲載や再放送等については再申請が必要となります。また、画像が使用できる期間は展覧会期間内のみとなります。
〇商品のＰＲ等の商業利用に関しては画像の提供は出来ません。
〇校正ゲラの段階で情報の確認をさせてください。
〇記事が掲載された場合は DVD、掲載紙、誌を一部ご寄贈いただきますようお願いします。
申請書送付先：富山市ガラス美術館広報担当　　E-mail: bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp　　Fax：076-461-3310